

学校法人 青山学院

**2,600名が利用する教職員ポータル、
20,000名が利用する学生ポータルへのアクセスを
いつでも、どこでも、安全に。**

課題

-  対象となるユーザー数が多いため、管理者の運用負荷が大きくなることが懸念された。
-  2009年当時、教員は学内の業務PCからしか教職員ポータルを利用できず、不便を感じていた。
-  2009年当時、学生は学内の壁掛けの専用端末からしか成績情報・履修状況を確認できず、不便を感じていた。

効果

-  ブラウザーのみで利用でき、デバイスの配布・管理が不要なため、運用負荷を最小限に抑えることができた。
-  教員は、学外からでも教職員ポータルが利用できるようになり利便性が向上した。
-  学生は、学生ポータルから成績情報・履修状況を確認できるようになり利便性が向上。壁掛けの専用端末を廃止してコストを削減できた。

■導入の経緯

青山学院は、教職員、学生にICカード型の身分証を配布しています。2009年当時、専任教員は学内の業務PCに教員証+PINで認証を行い、教職員ポータル上の業務システムを利用していました。一方、1,400名の非常勤教員には業務PCが用意されておらず、教職員ポータルを利用することができませんでした。学生においては、学内の壁掛けの専用端末に学生証で認証を行い、成績情報や履修状況を確認していましたが、学外からこれらの情報を確認することはできませんでした。また、専任教員からリモートワークを要望する声が上がっていたこともあり、これらの課題を解決するために、新たな認証システムの検討を始めました。

■製品選定のポイント

当初、既存のICカードの利用可能範囲を学外にも広げることを検討しましたが、ICカードリーダーの管理やサポートなど、運用負荷が非常に高くなることが想定されました。そこで、運用負荷を抑えられる認証製品を検討。認証デバイスが不要でブラウザのみで利用できること、APIで既存のポータルサイトに組み込みができることからSECUREMATRIXを採用しました。

■導入の効果

2009年から全ての教職員はポータルサイトを利用できるようになり、教員はリモートワークを実現し、学生は成績情報・履修状況の確認が可能になりました。スマートフォン、タブレットからの利用が増えたことによって、2015年には壁掛けの専用端末廃止を実現することができました。22,000名を超える教職員・学生から利便性が高いと評価され、進化を続ける学内のICT環境において、10年以上に渡り利用され続けています。

お客さま
基本情報



学校法人 青山学院

1874(明治7)年に灯されたキリスト教信仰にもとづいた建学の精神は、生きた伝統として受け継がれています。青山学院は幼稚園から大学院までを有する総合学園として、時代に貢献できる真の人間形成を目指して、その歩みを続けています。

本部所在地：東京都渋谷区
開設：1874(明治7)年
在籍者数：22,958名
教職員数：1,364名
URL：<https://www.aoyamagakuin.jp/>



CSE

株式会社シー・エス・イー
<https://www.cseltd.co.jp/>

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷3-3-1 A-PLACE渋谷金王
TEL. 03-5469-6026 FAX. 03-5469-6037 E-mail. sales@cseltd.co.jp